

進路を 考 えるにあたって

中学3年生は、進路決定に向けて突っ走る時です。修学旅行、体育大会など中学3年間の集大成となる行事も控えています。でも、それもみんなが大人へ成長するための大切なステップの1つです。そんなステップを踏みながら、中学卒業後に向けて邁進するのが中学3年生です。

中学卒業後の進路は、人それぞれ違います。自動車や機会を扱う仕事に将来つきたい人は工業系の高校へ進む方法があります。お店の経営に関心があれば商業系の高校へ進む方法があります。

だから、進路を決める時に、「あの人と同じ高校に進もう。」と考えないことです。友達と自分とは将来の夢は違うからです。あくまで自分の行きたい学校を自指すべきです。入学してから「自分に合わなかった」と後悔しても遅いのです。

また、進路を決める時に、「工業系の学校だったらどこも同じだろう」と思わないことです。何も下調べせずに受験してその高校に入ってみたら、理想と全然違う所だったということとは、少なからずあります。同じ『工科高校』でも、開設している学科やその中身はずいぶん違います。

そして、進路を決める時に、「自分の成績はこのくらいだからあの高校にしよう」という決め方をしないことです。最後の最後にやむを得ず妥協することはあっても、まずは自分の目標を自指してがんばることです。

毎年、数万人の高校生が学校を中退しているそうです。もちろん、「もっと自分にあった道が見つかったから」と前向きにやめていく人もいます。でも、多くの場合は、「自分に合わなかったから」というのが主な理由です。

「自分は何がしたいのか」「何が好きなのか」「将来何になりたいのか」をよく考えて、自分にあった進路を選んでください。周りの仲間や先生に相談することはもちろん大切です。でも、その意見を鵜呑みにしてはいけません。最後に判断するのは自分、そしてお家の人です。

また、興味のある学校の説明会や体験入学にはできるだけ参加するようにしましょう。『百聞は一見にしかず』と言います。実際に見ることで学校の雰囲気や環境、学生の意欲など、いろんなことが見えてくるはずですからね。